

## 第8回独立行政法人都市再生機構業務実績評価有識者会合 議事概要

### 1. 日時

令和4年6月15日(水) 14:30~16:00

### 2. 会議形式

WEB会議にて開催

### 3. 主な出席者

〈外部有識者〉 長 沢 美 智 子 弁護士  
浅 見 泰 司 東京大学大学院工学系研究科教授  
井 出 多 加 子 成蹊大学経済学部教授  
黒 田 克 司 公認会計士  
中 井 検 裕 東京工業大学環境・社会理工学院教授  
〈国土交通省〉 淡 野 博 久 住宅局長  
宇 野 善 昌 都市局長  
〈都市再生機構〉 中 島 正 弘 理事長  
伊 藤 治 副理事長  
中 村 功 理事長代理

### 4. 議事

- (1) 令和3年度における業務実績評価について  
①理事長ヒアリング及び自己評価について  
②主務大臣評価(案)について

### 5. 議事概要

#### (1) 議事(1)①について

- 都市再生機構(以下「機構」という。)の令和3年度における業務実績の概要等について、理事長からヒアリングを行った。
- 機構の令和3年度における業務実績に係る自己評価について、機構から説明がなされ、外部有識者から質疑応答が行われた。

#### (2) 議事(1)②について

- 機構の令和3年度における業務実績に係る大臣評価(案)について、事務局(国土交通省)から説明を行った。
- 外部有識者から、I2(2)「持続可能で活力ある地域・まちづくりの推進」に対する評価として以下の意見があった。
  - ・ 定量目標である「団地再生事業により供給した整備敷地等のうち、新たな機能の導入又は既存の機

能の強化を目的として供給した割合」について、年度計画における想定と実績との比較や、前年の実績との比較を考慮すると、B評価が妥当であると考える。

- ・本項目の定量目標については、達成率を計算する際の分母の取扱など設定方法そのものに疑問を感じる。
- 外部有識者から、I 2 (3)「UR賃貸住宅における安全・安心・快適な暮らしの実現」に対する評価として以下の意見があった。
  - ・住宅セーフティネット関連の施策については、機構が今後積極的に展開することを期待するようなコメントを評価書に盛り込んでほしい。
- 外部有識者から、I 3「東日本大震災からの復興に係る業務の実施」に対する評価として以下の意見があった。
  - ・本項目は定量目標が無いので、福島県の原子力災害被災地域における復興支援に係る業務の難度が質的に高いこと、そこに対して機構が貢献していることについて、しっかりと評価書内で説明すべきではないか。

以 上